

2019年3月期 第2四半期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2018年11月5日

1. 18年度 上期業績
2. 18年度 通期業績予想
3. 成長戦略

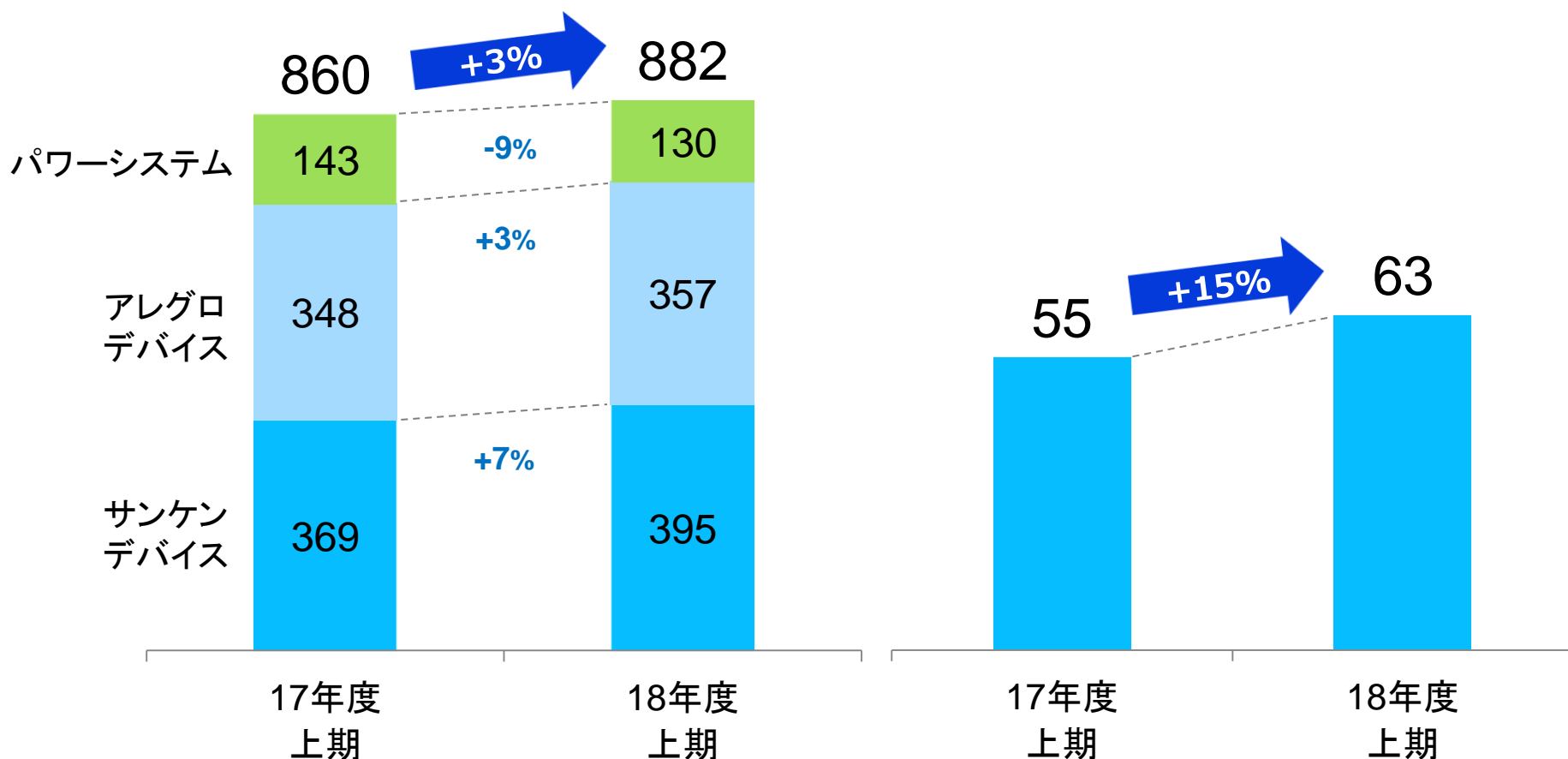
上期業績

2018年度 上期 連結業績 サマリー

サンケンの白物家電、アレグロの車載が好調継続し、増収増益

■ 売上 (億円)

■ 営業利益 (億円)



・為替レート(上期): 17年度 111.06円/US\$ 18年度 110.27円/US\$

2018年度 上期 連結業績

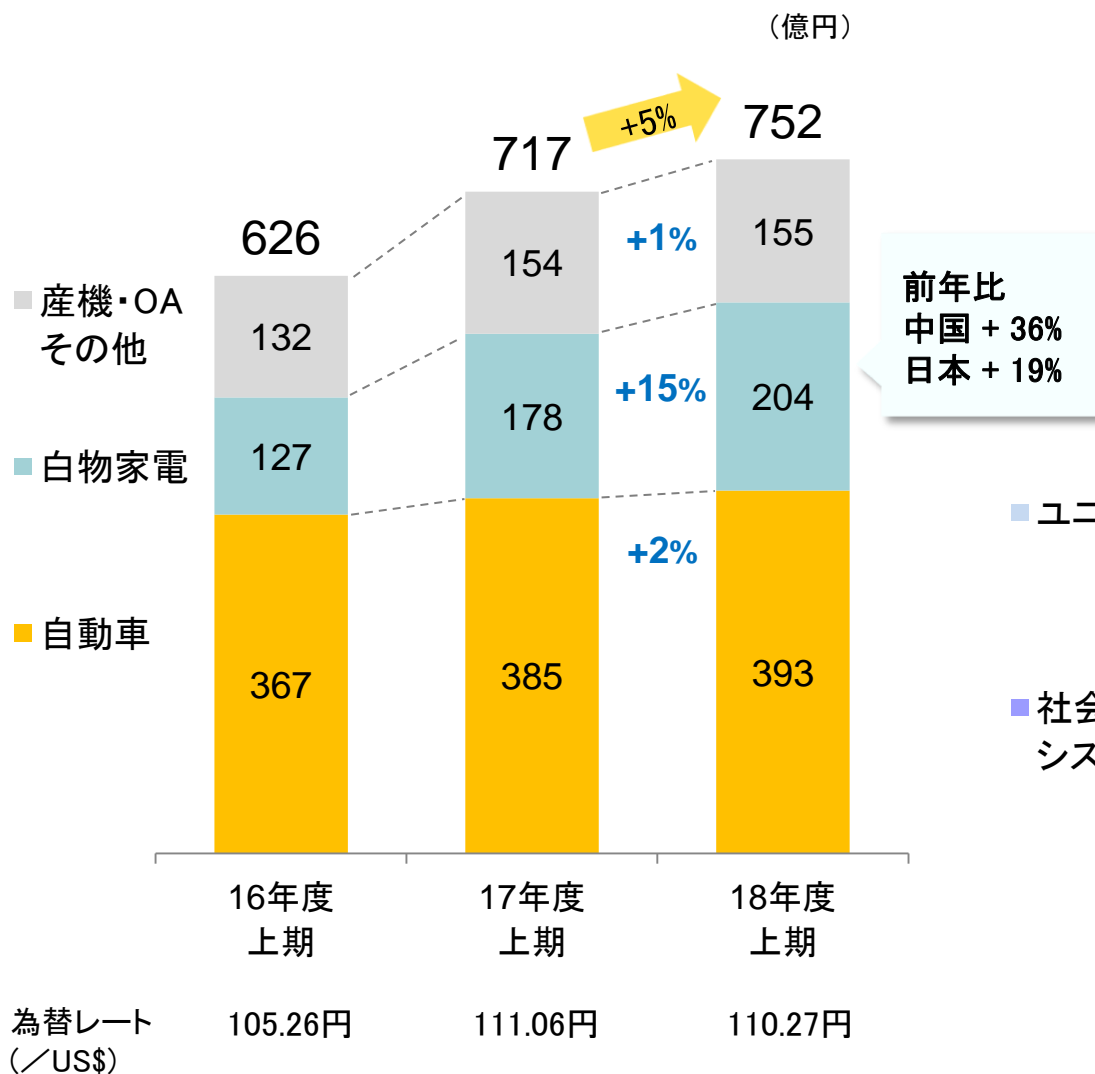
(億円)

	17年度	18年度			前年 同期比 (%)	18年5月 公表値	増減率 (%)
	上期	1Q	2Q	上期			
売上高	860	427	455	882	+2.6	872	+1.1
デバイス	717	365	387	752	+4.9	758	-0.8
パワーシステム	143	62	68	130	-9.1	114	+14.0
営業利益	55	25	38	63	+14.5	52	+21.2
経常利益	57	18	35	53	-0.7	44	+20.5
特別損益	-165	0	0	0	-	-	-
当期純利益	-131	6	16	22	-	15	+46.7

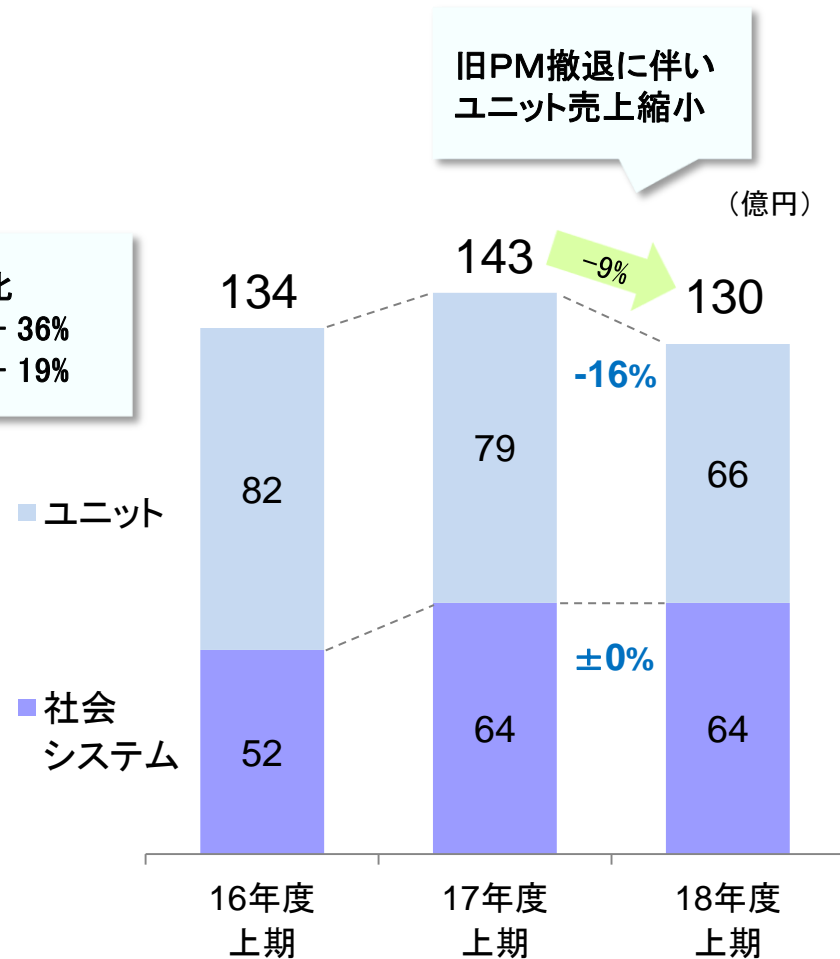
※ 前年同期比は本表に示した億円単位の数値から算出

市場別 上期連結売上高推移

■ デバイス

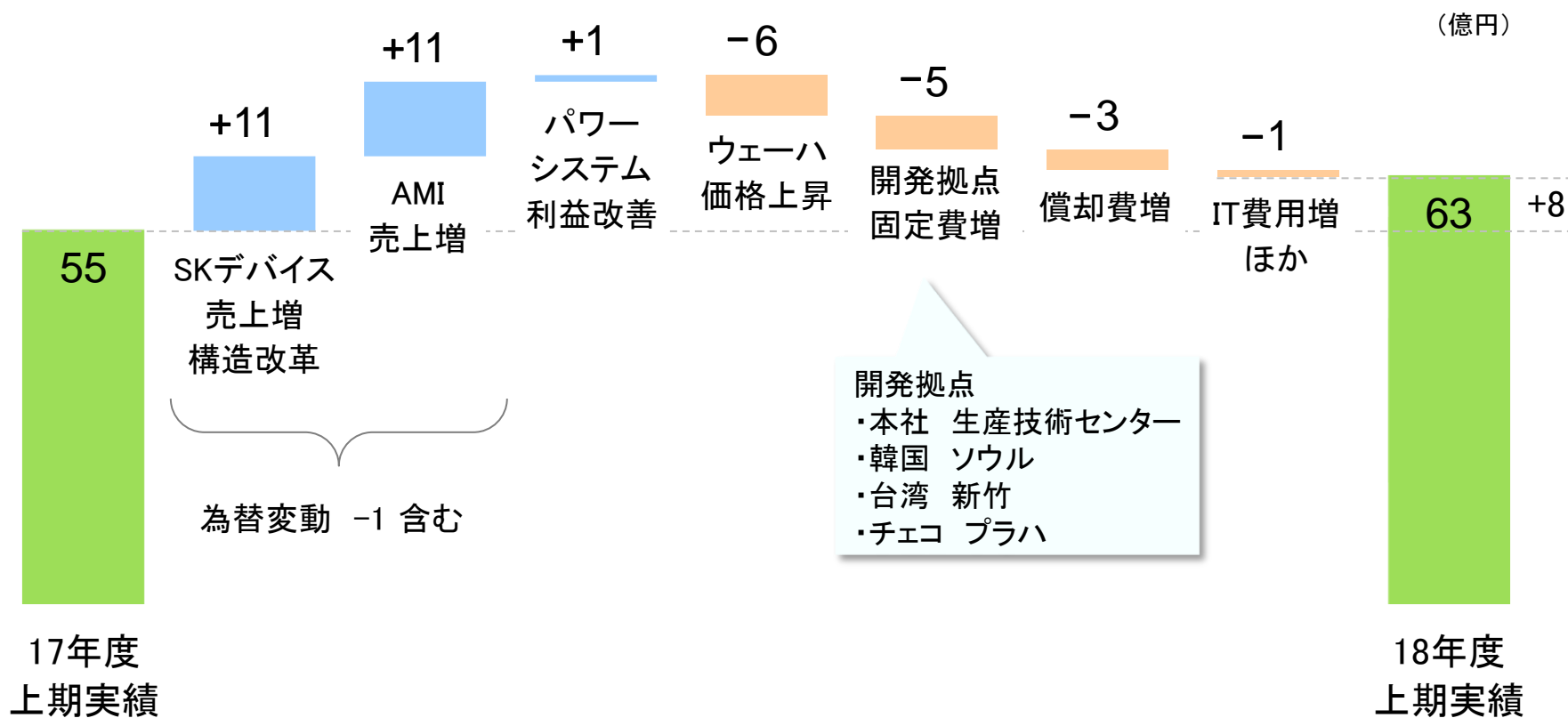


■ パワーシステム



2018年度 上期営業利益 前期比較

売上増と構造改革効果でウェーハ価格上昇を吸収するとともに
成長戦略投資を実行



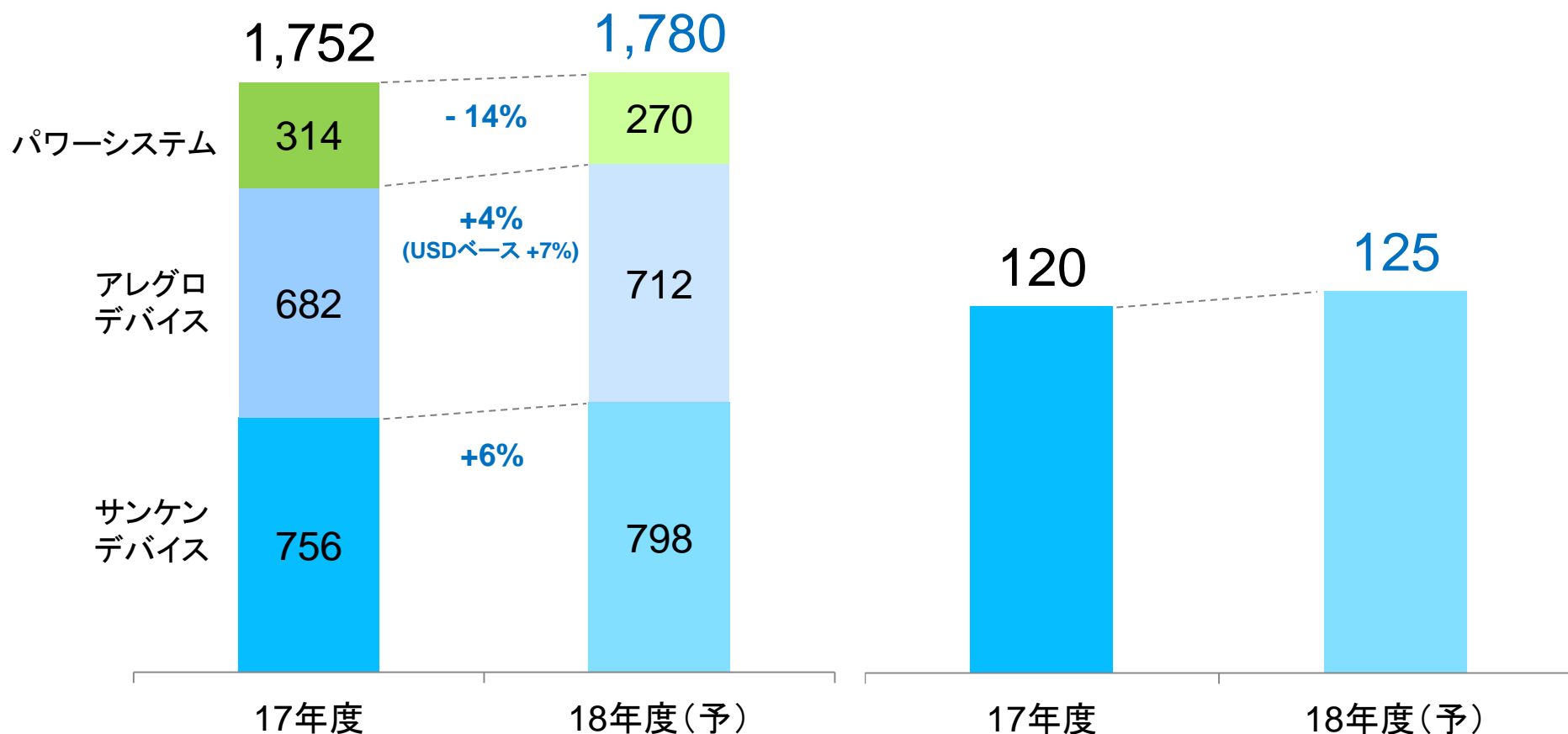
通期業績予想

2018年度 通期 連結業績予想サマリー

中国市場の先行き不透明感を加味し、通期業績予想は据え置く

■ 売上 (億円)

■ 営業利益 (億円)



・為替レート(¥/USD): 17年度 110.86 18年度 上期 110.27 下期 105.00

2018年度 通期 連結業績予想

(億円)

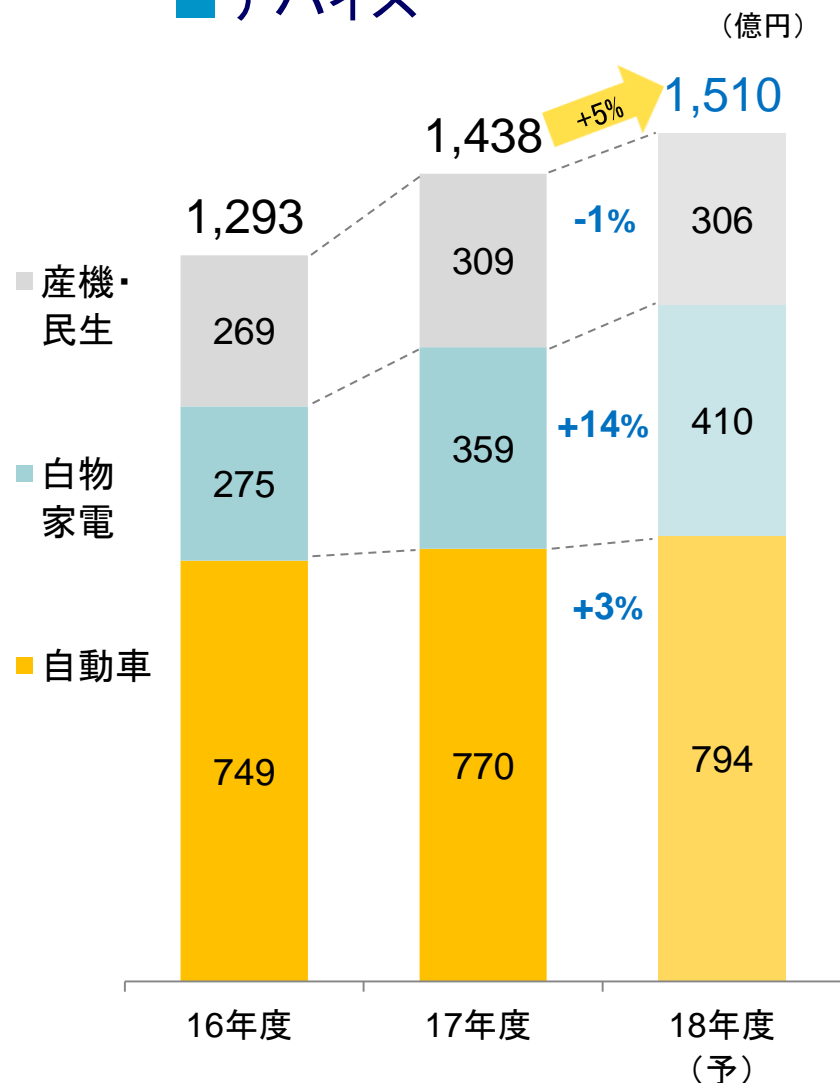
	17年度 実績			18年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期	率 (%)
売上高	860	892	1,752	882	898	1,780	+28	+1.6
デバイス	717	721	1,438	752	758	1,510	+72	+5.0
パワーシステム	143	171	314	130	140	270	-44	-14.0
営業利益	55	65	120	63	62	125	+5	+4.2
経常利益	57	61	118	53	57	110	-8	-6.8
当期純利益	-131	17	-114	22	26	48	+162	-

※ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出

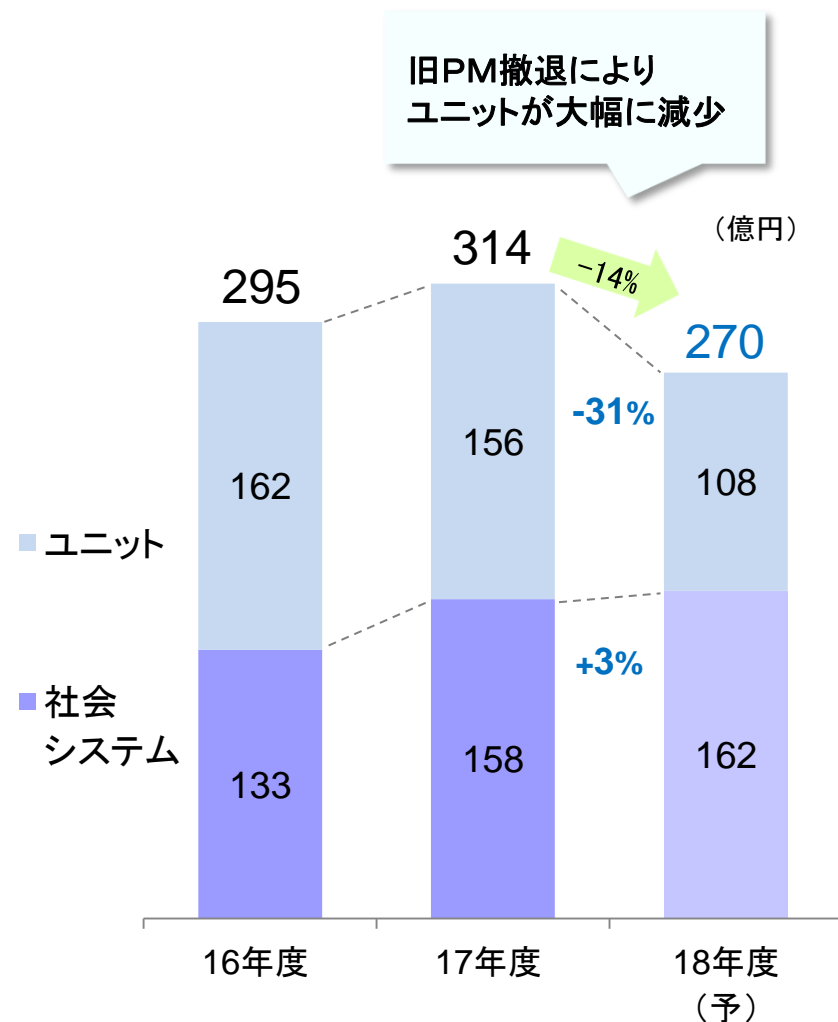
・ 下期想定為替レート：105円/US\$

市場別 通期連結売上高 予想

■ デバイス



■ パワーシステム

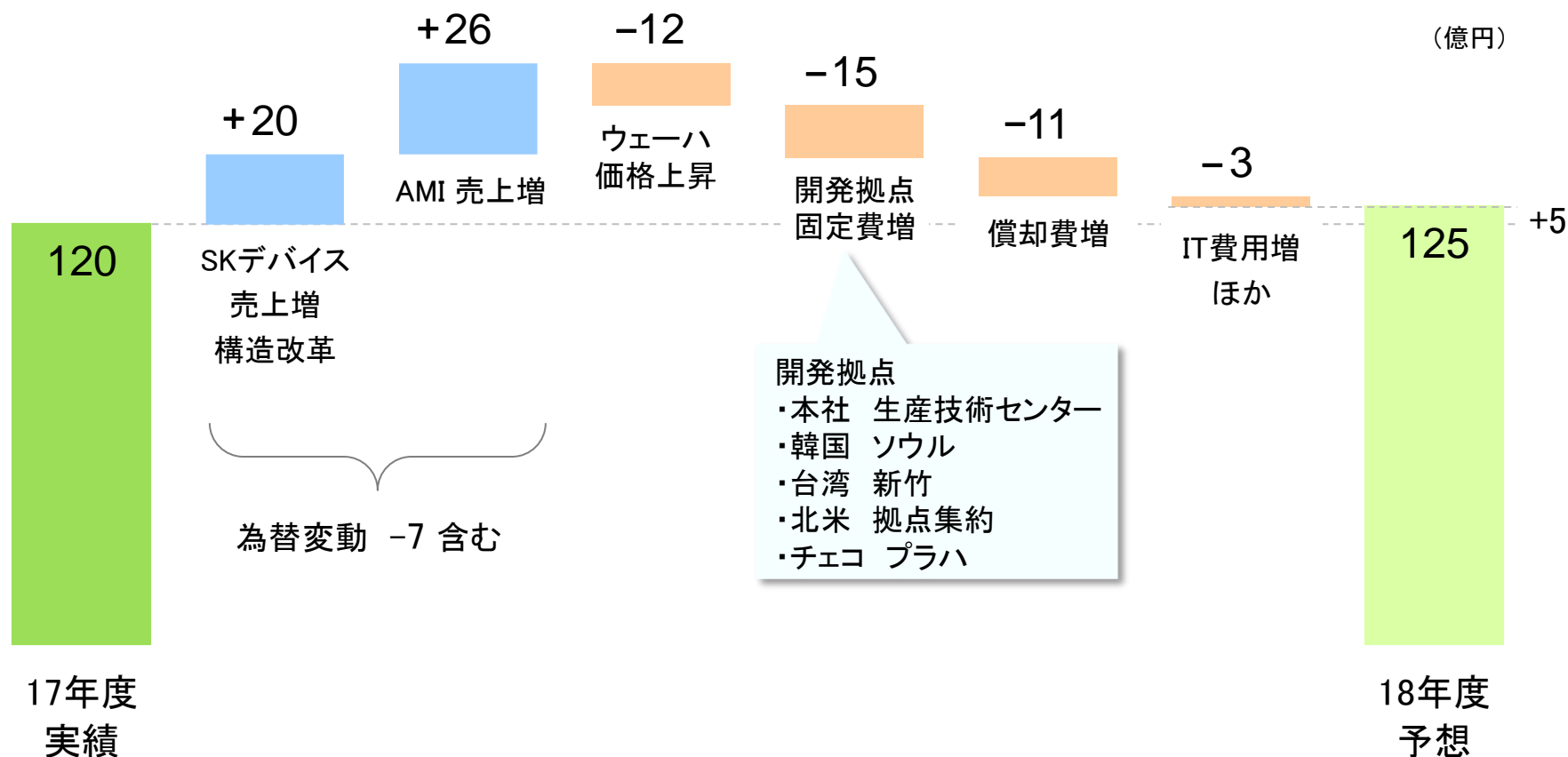


為替レート
(/US\$)

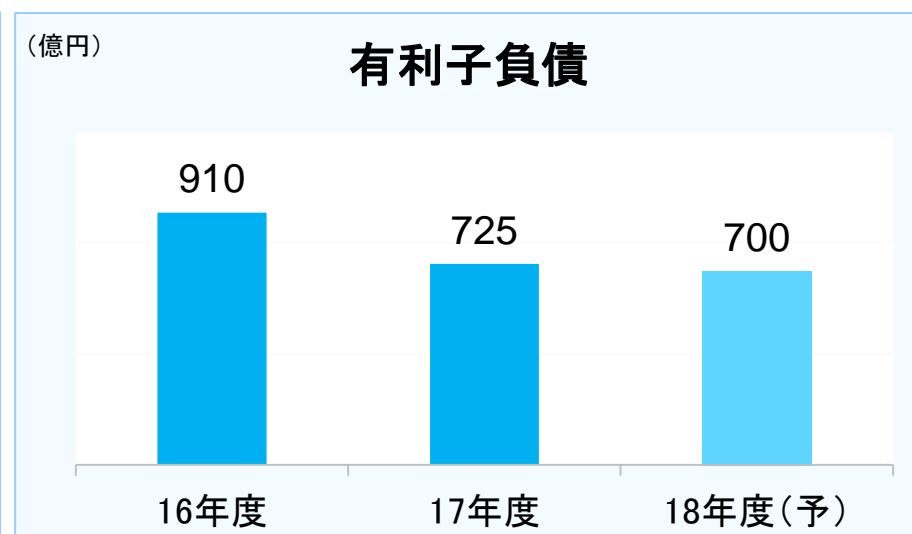
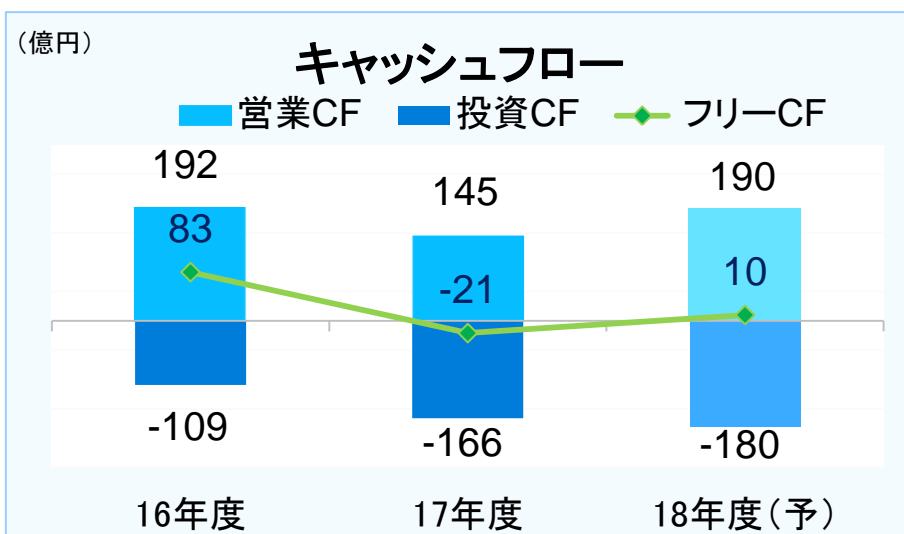
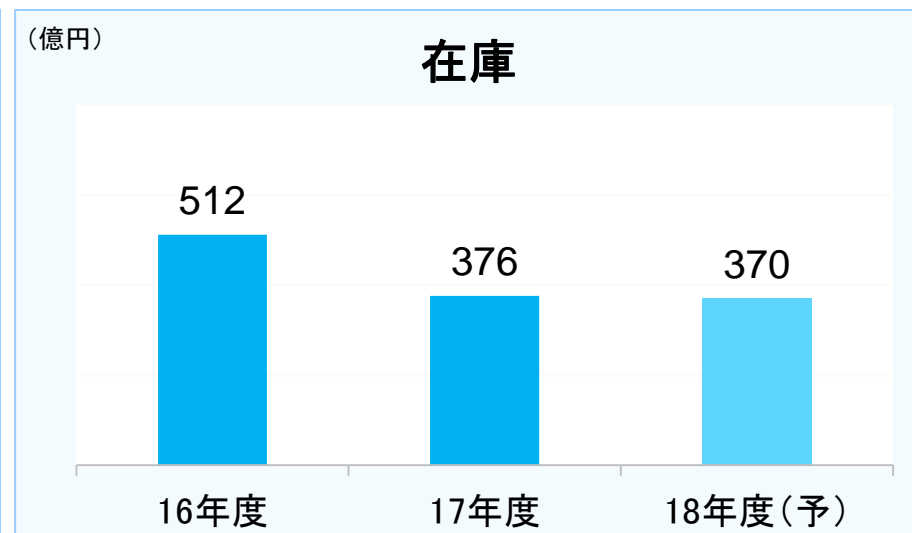
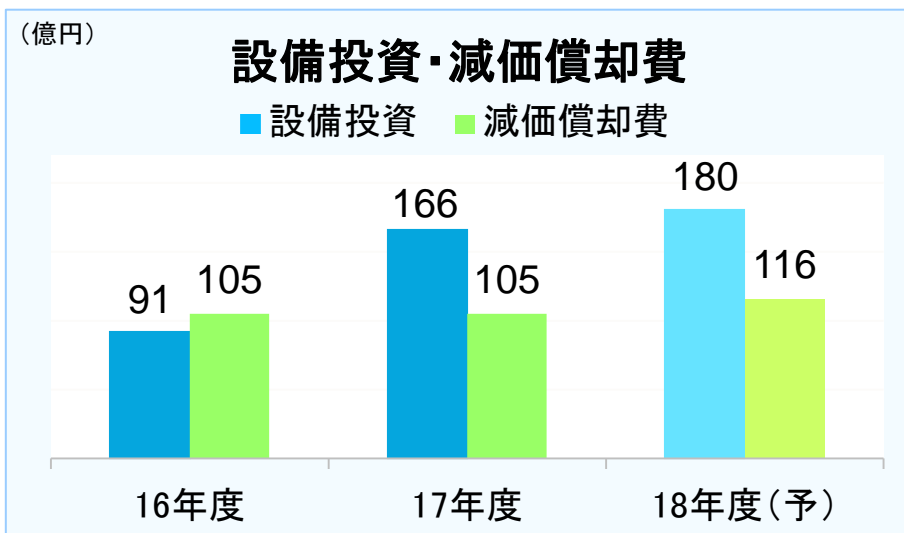
108.39円 110.86円 上期 110.27円 下期 105円

2018年度 営業利益 前期比較

- 中国市場の不透明感はあるが、成長戦略は着実に実行する
- 下期は成長戦略投資の負担が増えるが、売上増と構造改革効果の創出で目標利益を確保する



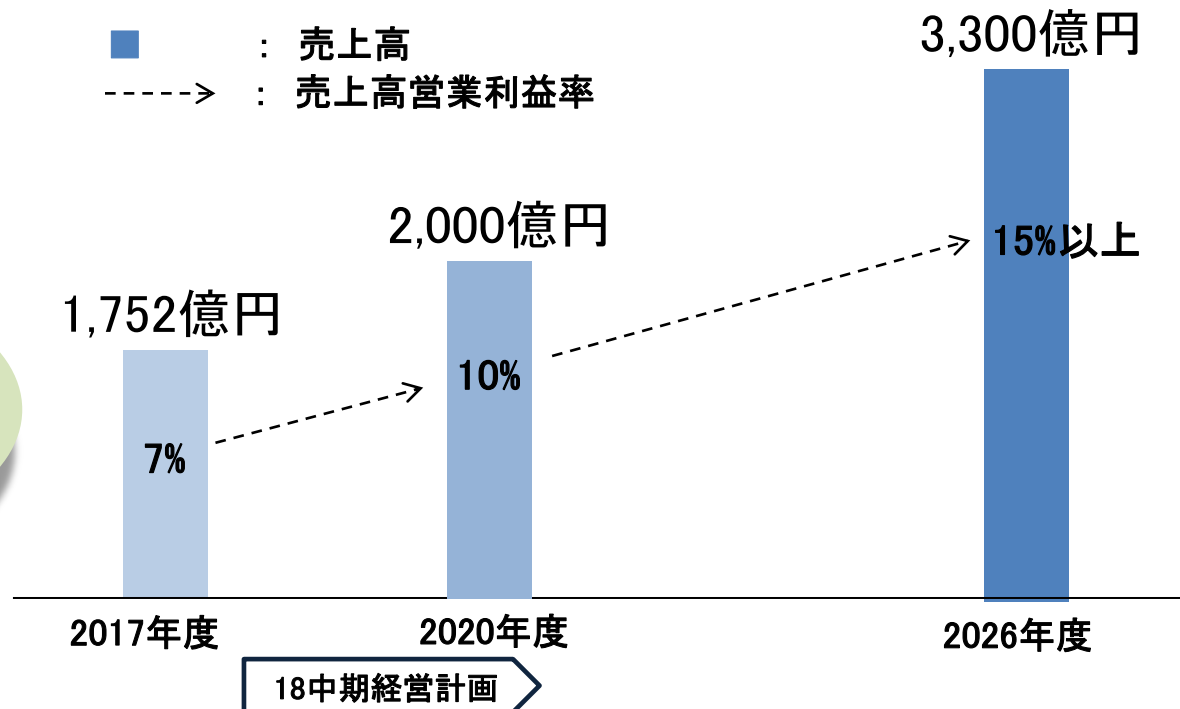
2018年度財務指標（連結）



成長戦略

独自性のある技術、人と組織のパフォーマンスで
成長する高収益企業の実現

■ 事業領域



達成に
向けて

■ 戦略市場への注力

■ 技術開発力の強化

■半導体の開発改革(成長戦略実現に向けた施策)

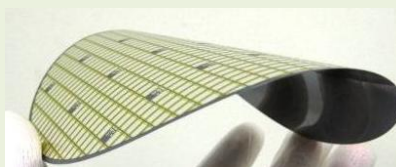
開発フロー	施策	狙い
設計 コンセプト	SPPの定着 SanKen Power-electronics Platform	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイス:プラットフォーム ・パワシス:モジュラー設計
プロセス	Seoul Power-device Design Center	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端パワープロセスの早期開発
パッケージ	Seoul Package Design Center	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代パッケージと必要な要素技術の早期開発
ソフトウェア	Taiwan SanKen Design Center	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル制御ICに必要なとなるファームウェア設計
製造ライン	生産技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・生産技術力の強化 ・自動化やIoT/AIの推進
信頼性 評価	デバイス信頼性評価センター	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性評価スピードアップ ・効率化、機能強化

Seoul Power-device Design Center

競争力のある最先端パワープロセスの開発

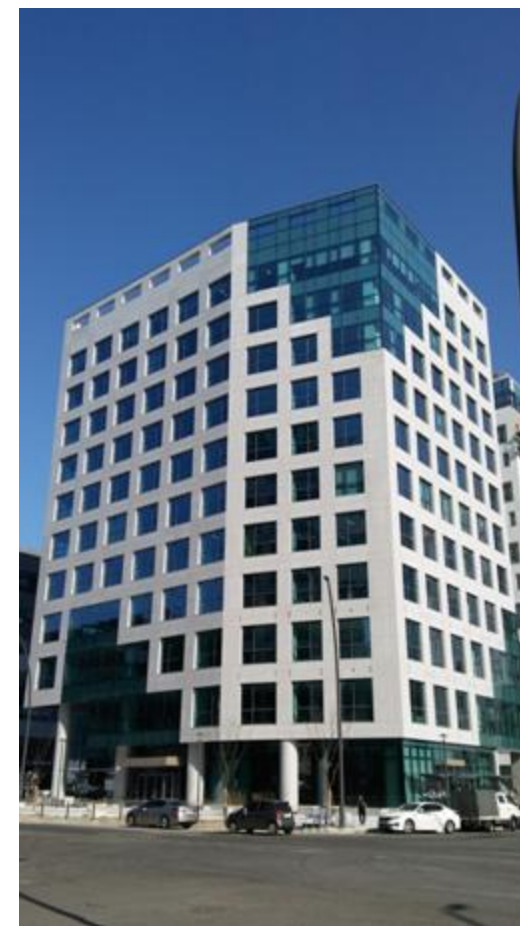


- 所在地 : 韓国 ソウル
- 人員 : 計画 50名
採用済 41名
(9月末)

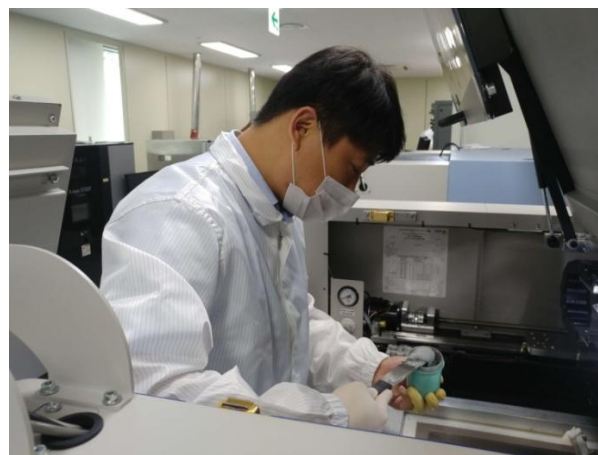


Seoul Package Design Center

競争力のあるアセンブリ要素技術・パッケージ開発

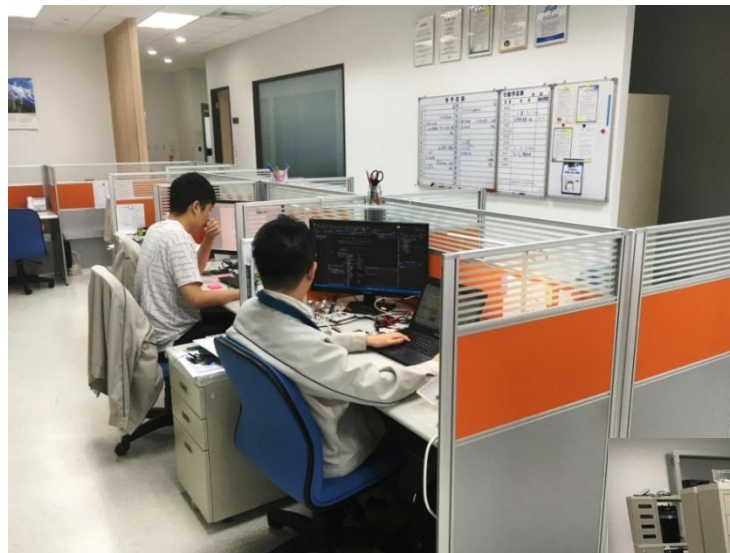


- 所在地 : 韓国 ソウル
- 人員 : 計画 20名
採用済 18名
(9月末)



Taiwan SanKen Design Center

パワーIoT向けデジタル製品・ファームウェアの開発



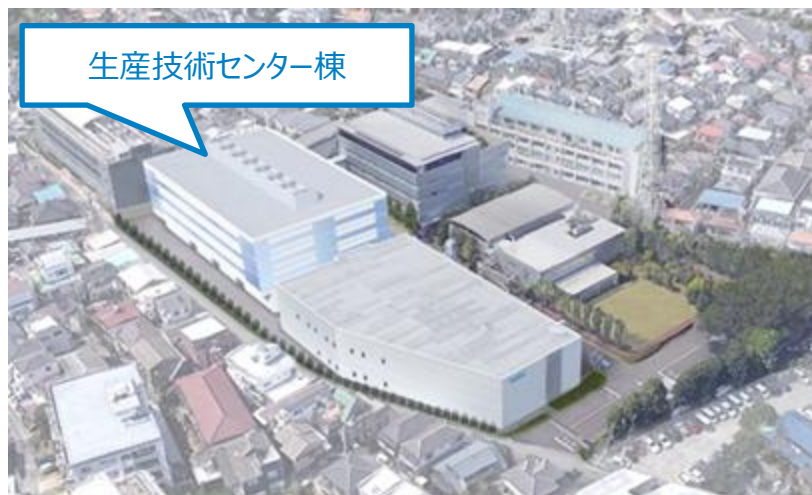
- 所在地 : 台湾 新竹
- 人員 : 計画 13名
採用済 11名
(9月末)



生産技術センター

ものづくり力強化・原価低減・スマートファクトリーの実現

- SPP (Sanken Power-electronics Platform) の推進
- 要素技術・材料技術・ライン設計をはじめとする生産技術力の高度化
- 自動化技術・画像検査・IoT・AIの活用による生産性の大幅向上



・4階建 延床面積：8,400m² ・2018年8月建替工事スタート ・2021年1月竣工予定

デバイス信頼性評価センター

デバイス評価機能の集約、効率改善、低コスト化



- 人員 : 30名
- 竣工 : 19年3月
- 運用開始 : 19年5月
- 延床面積 : 1,690m²



マンチェスター本社

本社の集約、開発力の強化



- マンチェスターの増築
(1,400㎡の拡張)
- 2018年11月完成予定
- 延床面積: 11,395㎡



・ウースター 売却予定

- 白物向けIPM
 - ・生産能力増強(サンケン)
- 車載向けIC、センサー他
 - ・生産能力増強(サンケン・アレグロ)
 - ・アレグロ フィリピン工場拡張
- 開発力強化
 - ・アレグロ マンチェスター拡張
 - ・海外デザインセンター

		国内				海外			
		山形	福島	石川	鹿島	大連	PSL	アレグロ	デザインセンター
増産	チップ 増産	✓	✓				✓		
	車載製品 増産		✓	✓	✓	✓		✓	
	白物IPM 増産			✓		✓			
生産性向上		✓		✓			✓		
開発力強化								✓	✓



将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。